

「慰安婦」問題に関する「日韓 YWCA 共同声明」

日本政府は日本軍「慰安婦」に謝罪を！

韓国 YWCA および日本 YWCA は、日本政府に日本軍「慰安婦」への謝罪を要求します

韓国 YWCA および日本 YWCA は、最近日本の政治家により行われている「慰安婦」問題に関する執拗で愚かな発言を糾弾します。私たちは日本政府に対し、真摯な謝罪、「慰安婦」問題に対する法的責任を認めること、そしてこの問題に関わった当局者の処罰を要求します。

「戦争中従軍慰安婦は必要だった」などの橋下徹大阪市長の発言は、歴史的事実に対する理解の深刻な欠如と、1900年代前半の日本による周辺諸国の侵略に際した戦争犯罪に対する責任を回避しようとする試みからくるものです。

戦争中軍隊に性奴隷が必要であるという考えは、女性全体に対する侮蔑であり、人権に対する明白な暴力です。さらに、日本軍「慰安婦」と女性の強制的搾取の存在の否認は、明らかに歴史を歪曲する試みです。これは幾人かの政治家に限った問題ではありません。それどころか、日本政府と極右組織による組織的で根深い陰謀と企てです。この企てに荷担する者たちは、1993年に慰安婦の募集プロセスの実行を認め謝罪した河野官房長官の談話を改変しようとし続けてきました。さらに、日本が持つ平和憲法の9条を逆行させる形で改変しようとしています。

戦争中に女性を強制的に性奴隷にすることは、疑う余地もなく明確な性暴力であり、戦争犯罪です。第二次世界大戦中、日本の軍事政権は、韓国を含むアジア地域において広範な「慰安婦」システムを運営しました。しかしながら、日本はその後、強制的に日本軍「慰安婦」としての生活をさせられた恐ろしい記憶と経験に苦しむ多数の元「慰安婦」の方々の声を無視し、放置してきました。2002年時点で日本政府は、平和構築における女性の役割を強化し武力紛争下の女性を保護する国連安全保障理事会決議1325号に参加しています。国際社会の責任あるメンバーとして、日本は日本軍「慰安婦」の問題を解決するプロセスに積極的に取り組み、国連、諸国議会、ならびに国際社会からの再三にわたる勧告に耳を傾けるべきです。私たちは日本政府に対し、元「慰安婦」の方々に誠実に謝罪し、過去に日本が侵略した国々を侮辱するような歴史歪曲を正すため最大限の努力を行うことを要求します。

韓国 YWCA と日本 YWCA は、日本政府に対し、何千人もの女性の人生を破壊した日本軍による強制的「慰安婦」制度に関わる犯罪を公式に認めることを要求します。日本政府はまた、元「慰安婦」の方々の経済的・社会的・文化的権利を確保するため、これらのサバイバーが受けた被害に対し全面的な賠償を行い、「慰安婦」制度に関するあらゆる情報を公開するべきです。同時に私たちは、上記の犯罪行為に関する客観的で正確な調査と、市民への正確で正当な歴史認識の教育を要求します。両国 YWCA は、アジア地域の他の YWCA、世界 YWCA との協力のもと、日本軍「慰安婦」制度に関する歴史的事実を広く訴え、正当な歴史認識を持つよう人々を教育するよう最善を尽くします。世界的な YWCA の姉妹としてのネットワークを通じ、アジア地域の平和な未来を築くため尽力していきます。

2013年7月

韓国 YWCA・日本 YWCA
会長・総幹事